

平成28年3月期 第1四半期  
決算説明資料

2015年7月24日

アイティメディア株式会社

証券コード：2148 東証マザーズ

# 2015年4月1日 キーマンズネット合流

キーマンズ ネット

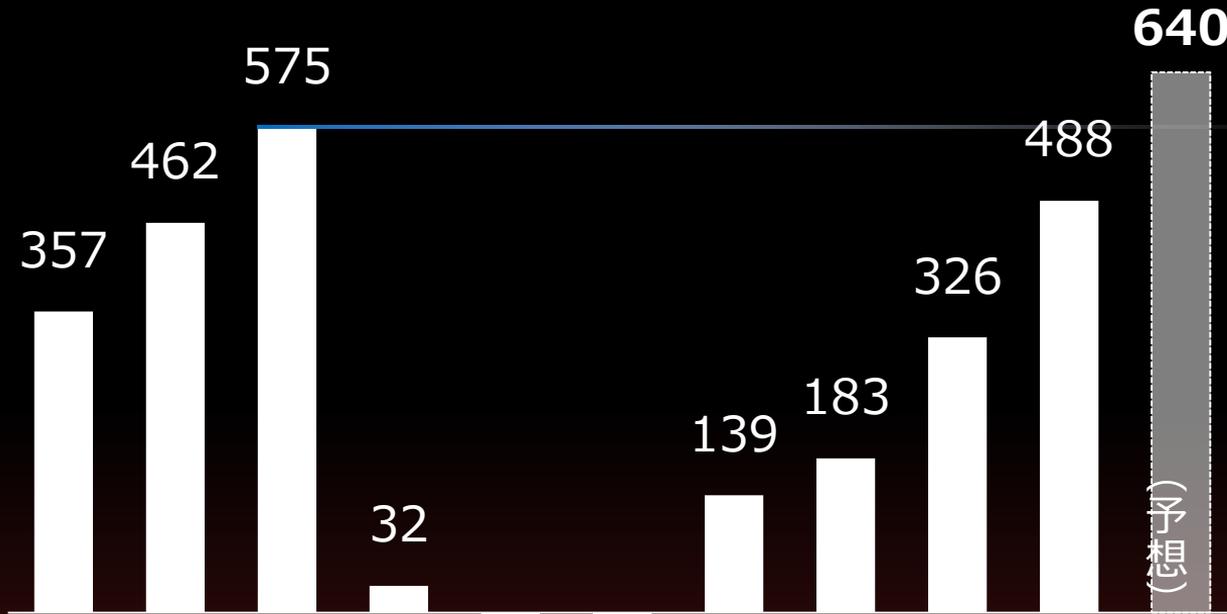
- » (株) リクルートホールディングスより キーマンズネット を譲受
- » 事業規模が大きく拡大 顧客数、会員数等のKPIにも顕著な効果
- » TechTargetジャパンと共に、リードジェンモデルによる当社成長を牽引
- » のれん等12百万円を償却しつつ、増益に貢献



# Q1サマリー

- 売上・利益共に過去最高
- キーマンズネット合流で事業規模拡大
- リードジェンが2.2倍に成長
- メディア広告も13.8%成長

# これまでの通期営業利益推移

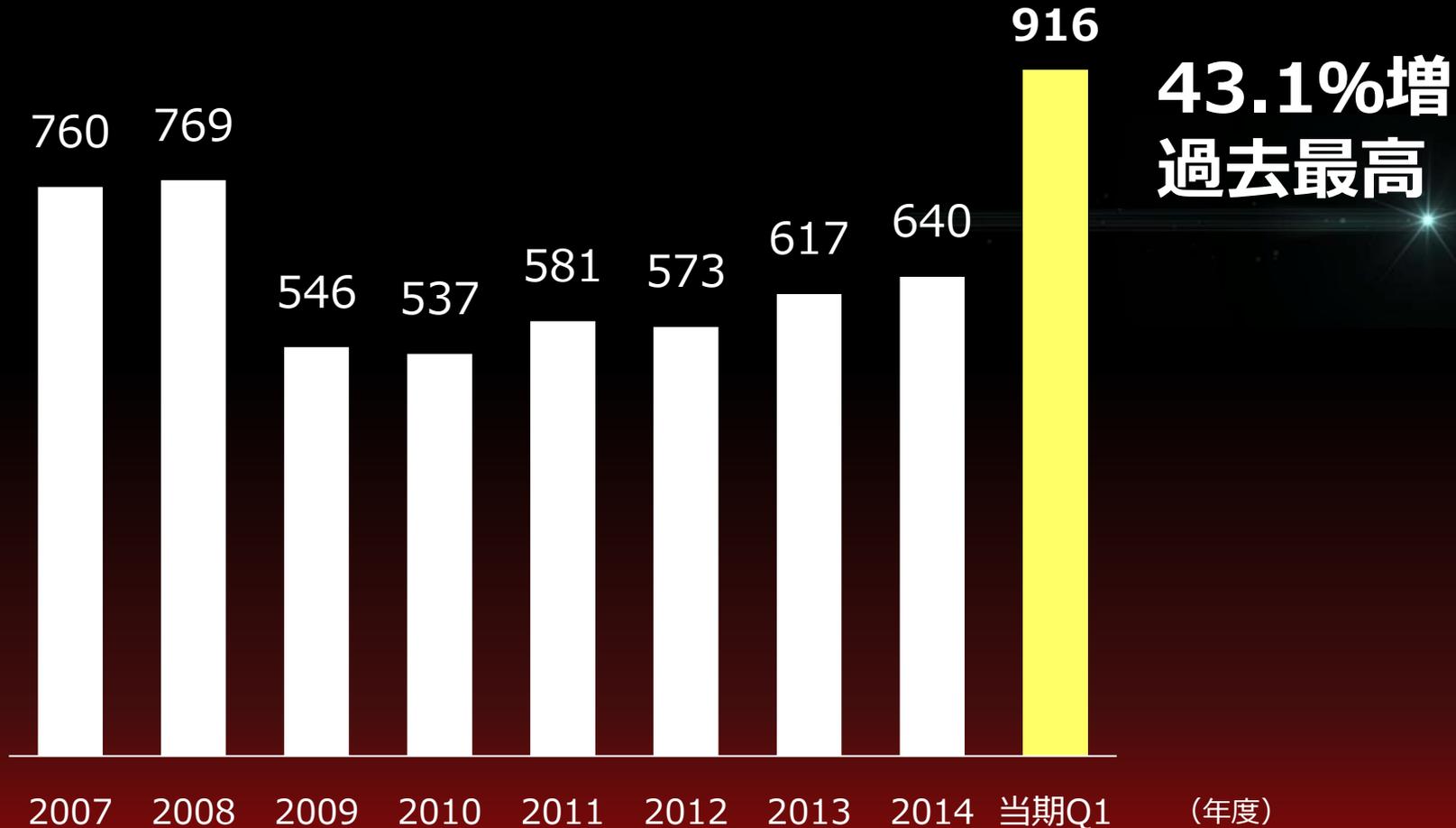


当期 過去最高益を計画

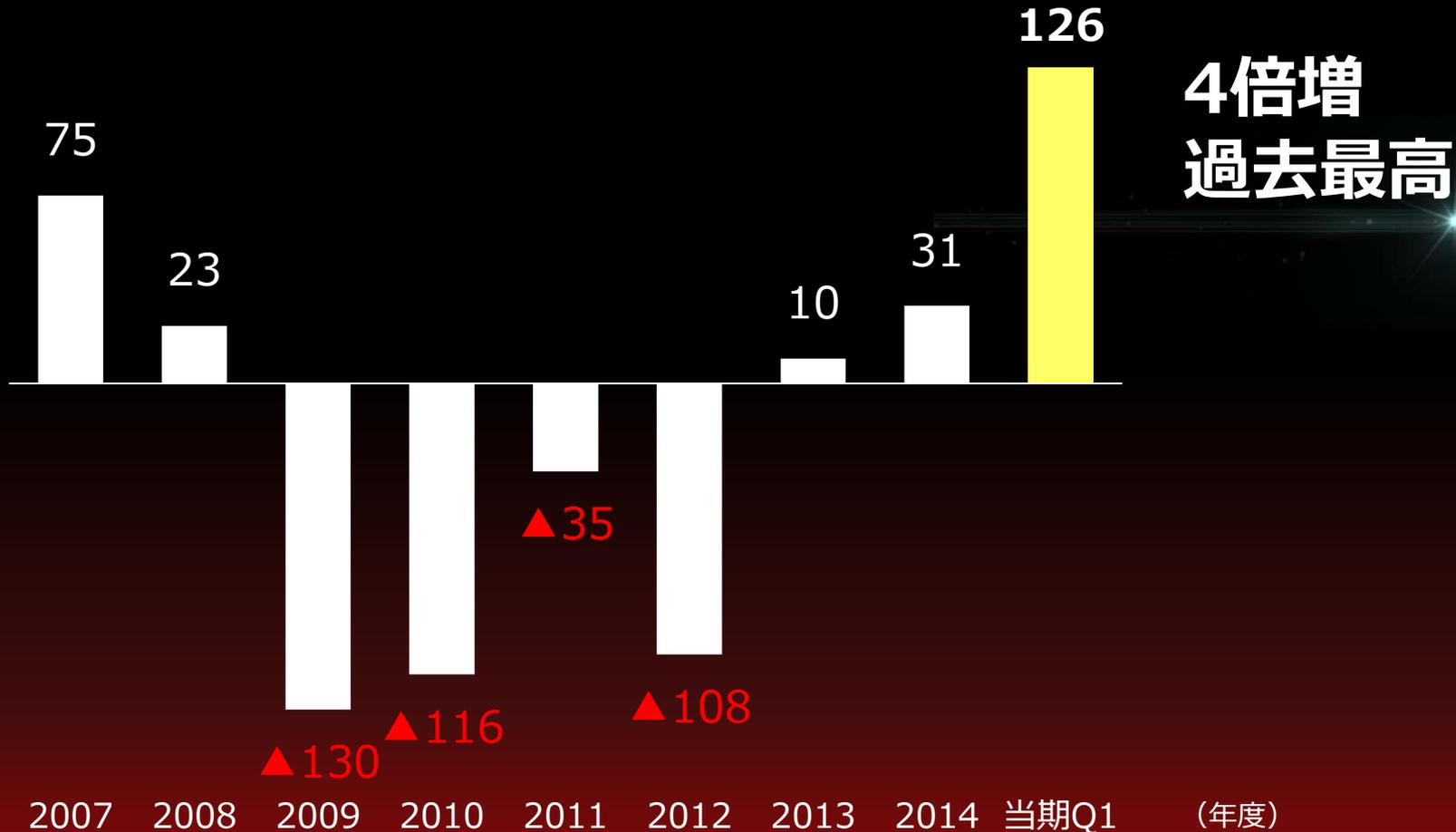
単位：百万円

2005 2006 2007 2008 2009 2010 2011 2012 2013 2014 当期 (年度)

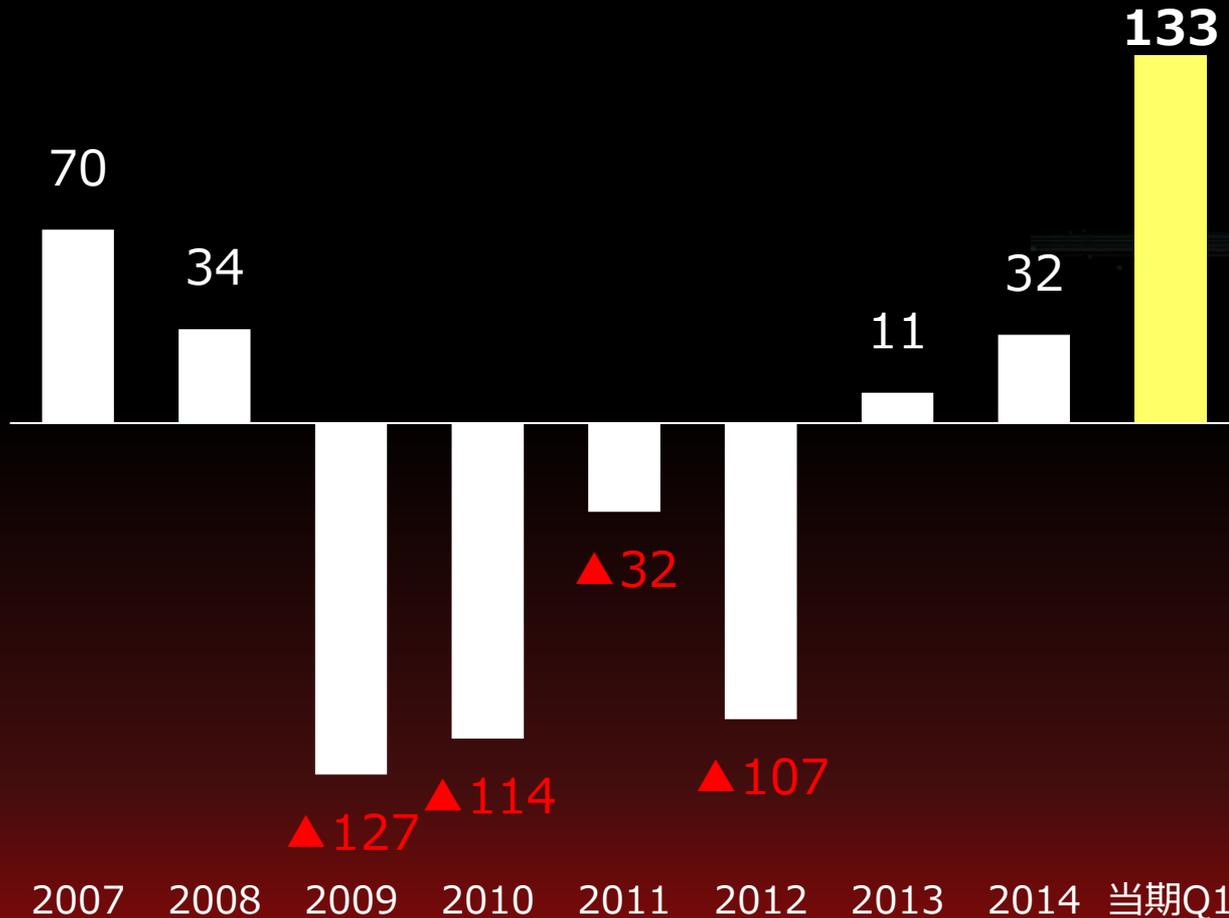
# 第1四半期売上高の推移



# 第1四半期営業利益の推移



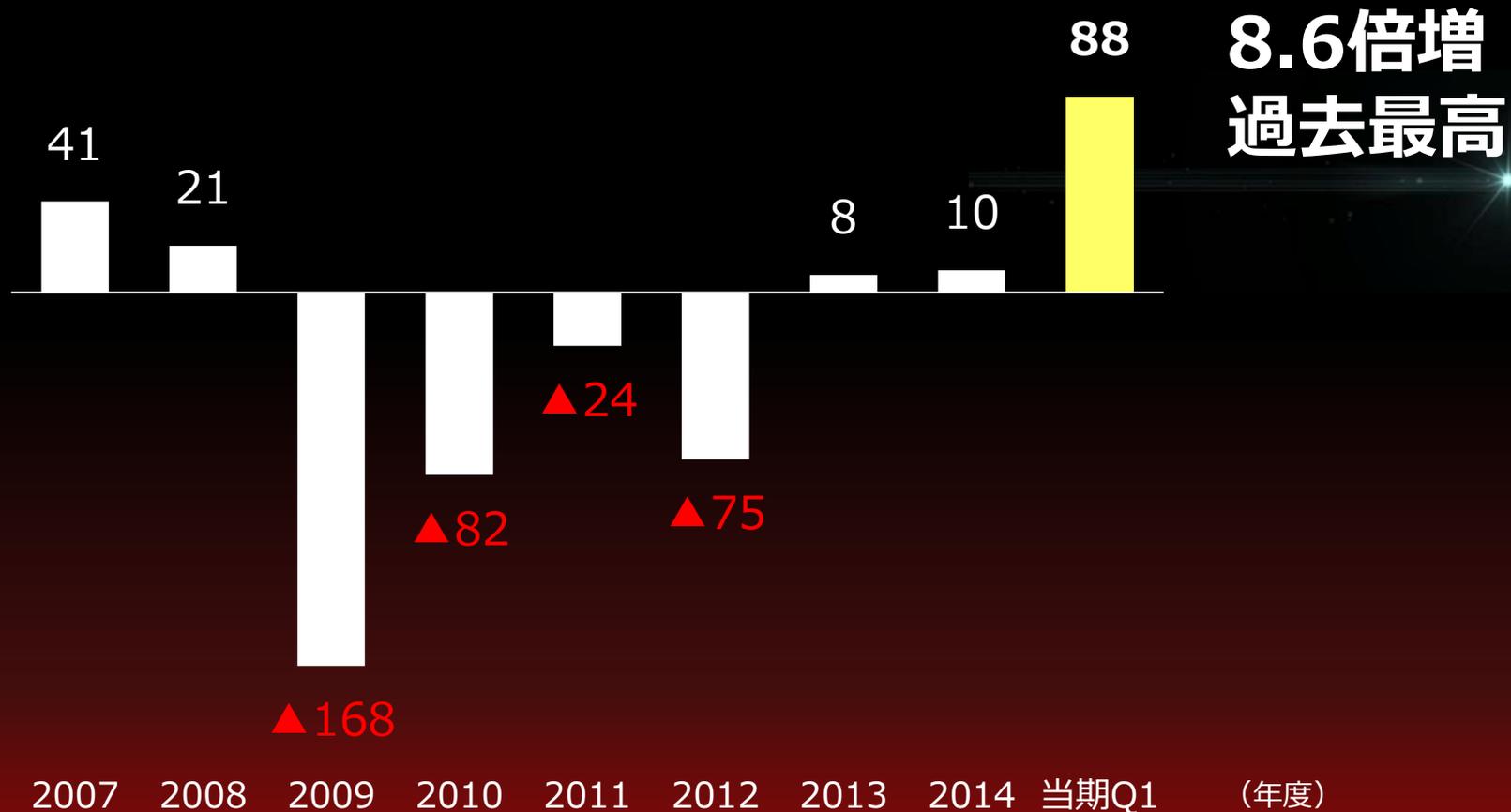
# 第1四半期経常利益の推移



4.1倍増  
過去最高

単位：百万円

# 第1四半期純利益の推移



# 四半期トレンド

売上高

営業利益

当期もQ2以降の伸長を想定

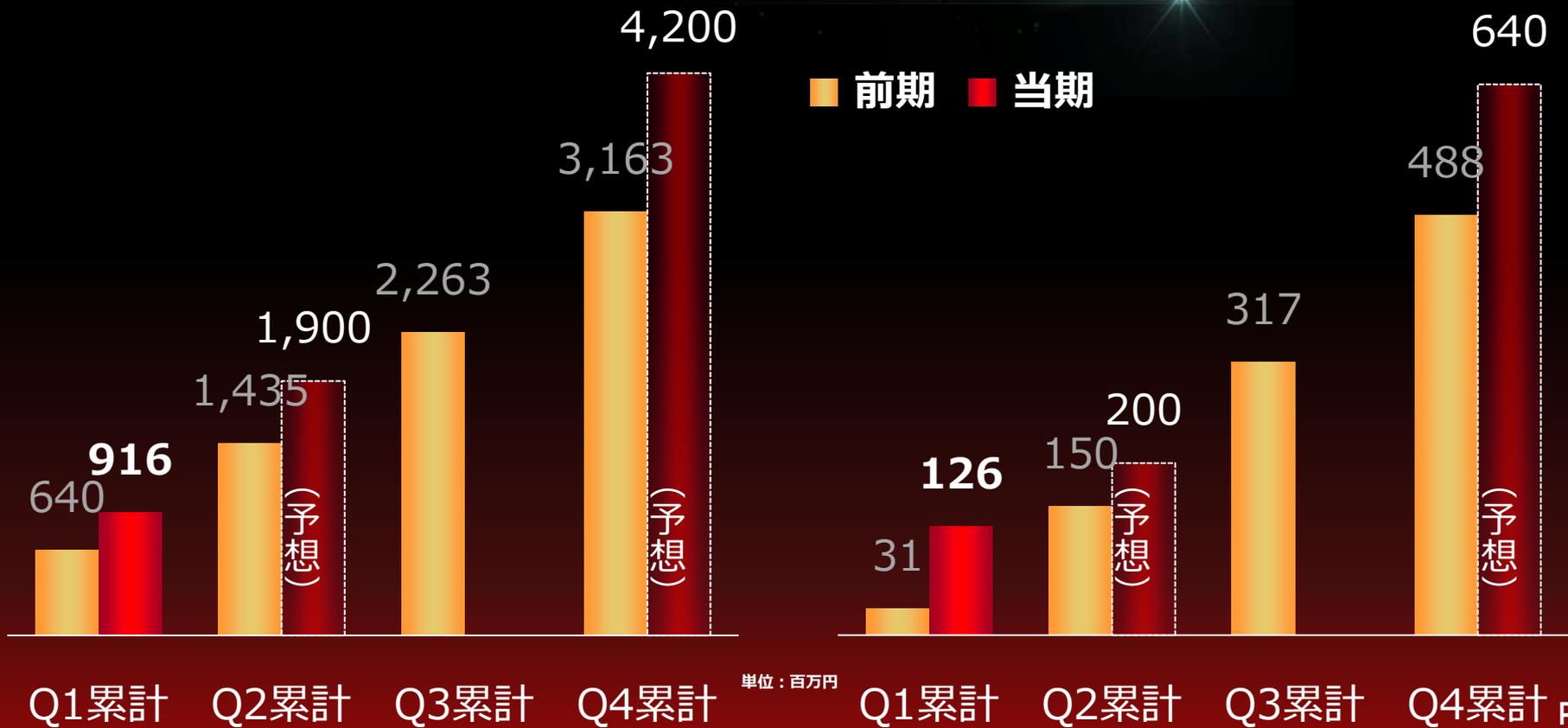


# 四半期トレンド（累計）

## 最高益に向け 良好なスタート

売上高

営業利益



# 2015年度 第1四半期 業績

単位：百万円

	前期		当期		増減率
	金額	売上比	金額	売上比	
売上高	640	100.0%	916	100.0%	+43.1%
売上原価	268	41.9%	370	40.4%	+38.0%
売上総利益	372	58.1%	546	59.6%	+46.9%
販売管理費	340	53.1%	419	45.8%	+23.3%
営業利益	31	5.0%	126	13.8%	+299.1%
経常利益	32	5.1%	133	14.6%	+313.4%
四半期純利益	10	1.6%	88	9.6%	+764.1%
包括利益	3	0.5%	89	9.7%	+2575.5%

# 連結貸借対照表

(単位：百万円)	2015年3月末	2015年6月末	差異	
【資産の部】				<b>流動資産</b>
流動資産	4,109	3,570	▲538	・現金及び預金 : ▲432 ⇒ キーマンズネット譲受決済 : ▲605
固定資産	743	1,114	+371	<b>固定資産</b>
資産合計	4,853	4,685	▲167	・無形固定資産 : +463 ⇒ キーマンズネット受入資産
【負債の部】				・ソフトウェア : +75
流動負債	573	375	▲198	・顧客関連資産 : +167
固定負債	27	27	▲0	・のれん : +244
負債合計	601	402	▲198	・投資有価証券 : ▲199 ⇒ 債券の償還
【純資産の部】				<b>負債合計</b>
株主資本	4,249	4,279	+30	・賞与引当金 : ▲65
他包括利益累計額	0	1	+0	・未払法人税等 : ▲148
新株予約権	1	1	▲0	<b>純資産合計</b>
純資産合計	4,251	4,282	+30	・四半期純利益 : +88
1株当たり純資産	656.32円	661.09円	+4.77円	・配当金 : ▲58
自己資本比率	87.6%	91.4%	+3.8pt	

# 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)	2014年度Q1	2015年度Q1	差異
営業活動による キャッシュ・フロー	96	37	▲58
投資活動による キャッシュ・フロー	87	▲413	▲501
財務活動による キャッシュ・フロー	▲24	▲56	▲32
現金及び現金同等物 の増加額	159	▲432	▲592
現金及び現金同等物 の期首残高	1,967	2,909	+941
現金及び現金同等物 の期末残高	2,127	2,476	+349

## 営業CF

- ・税金等調整前純利益 : +133
- ・売上債権回収(減少) : +116
- ・賞与引当金の減少 : ▲65
- ・法人税等の支払 : ▲148

## 投資CF

- ・事業譲受による支出 : ▲605  
⇒ キーマズネット 4/1 取得
- ・投資有価証券の償還 : +200

## 財務CF

- ・配当金の支払 : ▲55  
⇒ FY14 期末配当 : 9円  
普通配当:5円/記念配当:4円  
(FY14 年間配当金 : 14円)

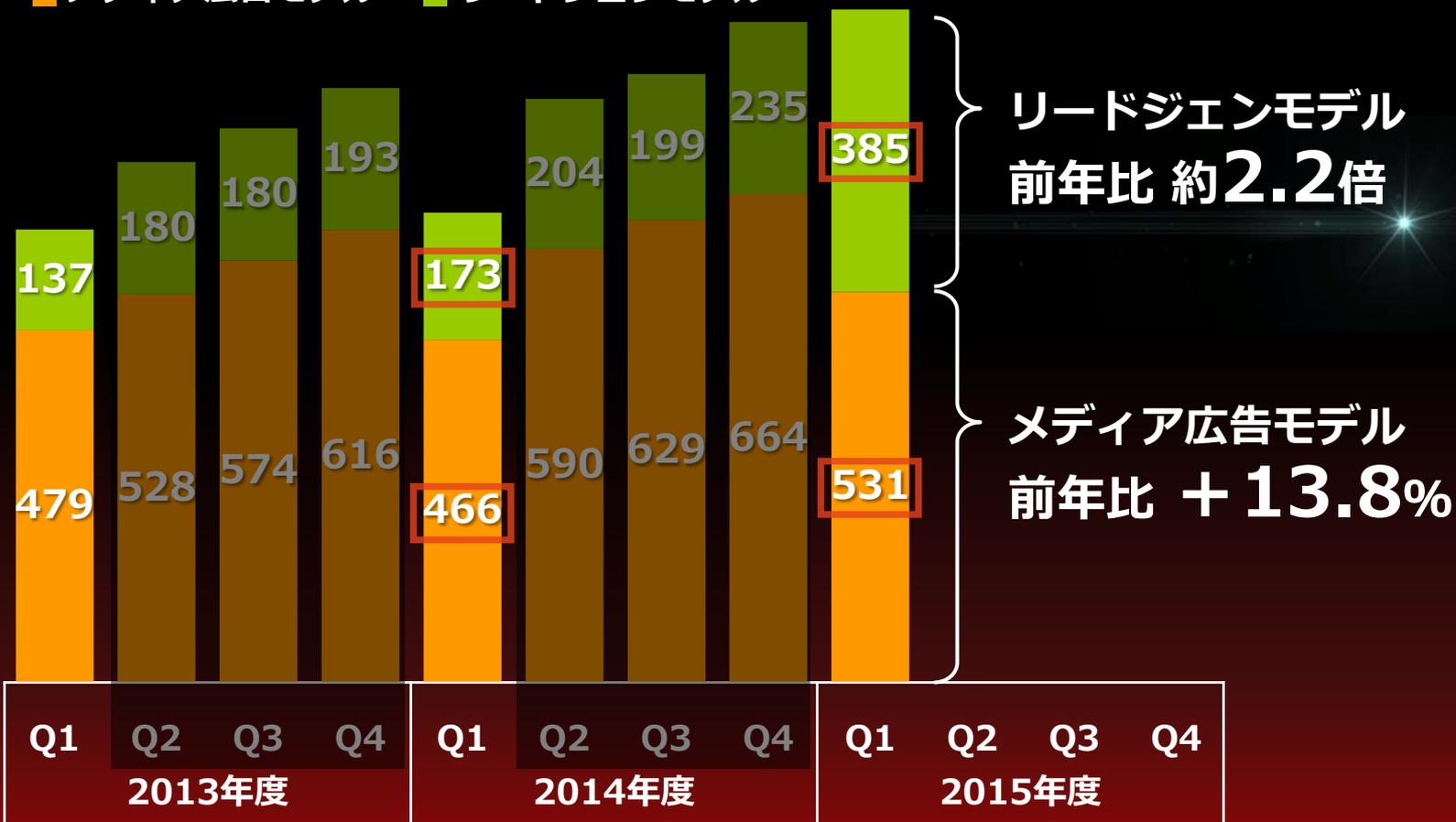
# セグメントの考え方

セグメント	収益モデル	顧客分野	主要なメディア・サービス	
メディア事業	リードジェン モデル	IT&ビジネス 分野	会員向けIT製品/サービス購買支援	TechTargetジャパン、キーマンズネット
			企業向けデジタルマーケティング情報	ITmedia マーケティング
	IT技術者向け専門情報		@IT、@IT自分戦略研究所 ほか	
	企業向けIT業界関連ニュース		ITmedia ニュース、エンタープライズ	
	ビジネスリーダーの会員制コミュニティ		ITmedia エグゼクティブ	
	企業向けビジネス情報		ITmedia ビジネスオンライン	
	メディア広告 モデル	産業テクノロジー 分野	製造業技術者向け専門情報	MONOist
			エレクトロニクス技術者向け専門情報	EE Times Japan、EDN Japan
			企業向け電力・エネルギー専門情報	スマートジャパン
		コンシューマー 分野	デジタル関連機器情報	ITmedia Mobile、ITmedia PC USER ほか
インターネット カルチャー情報	ねとらぼ			

# リードジェンとメディア広告の売上推移

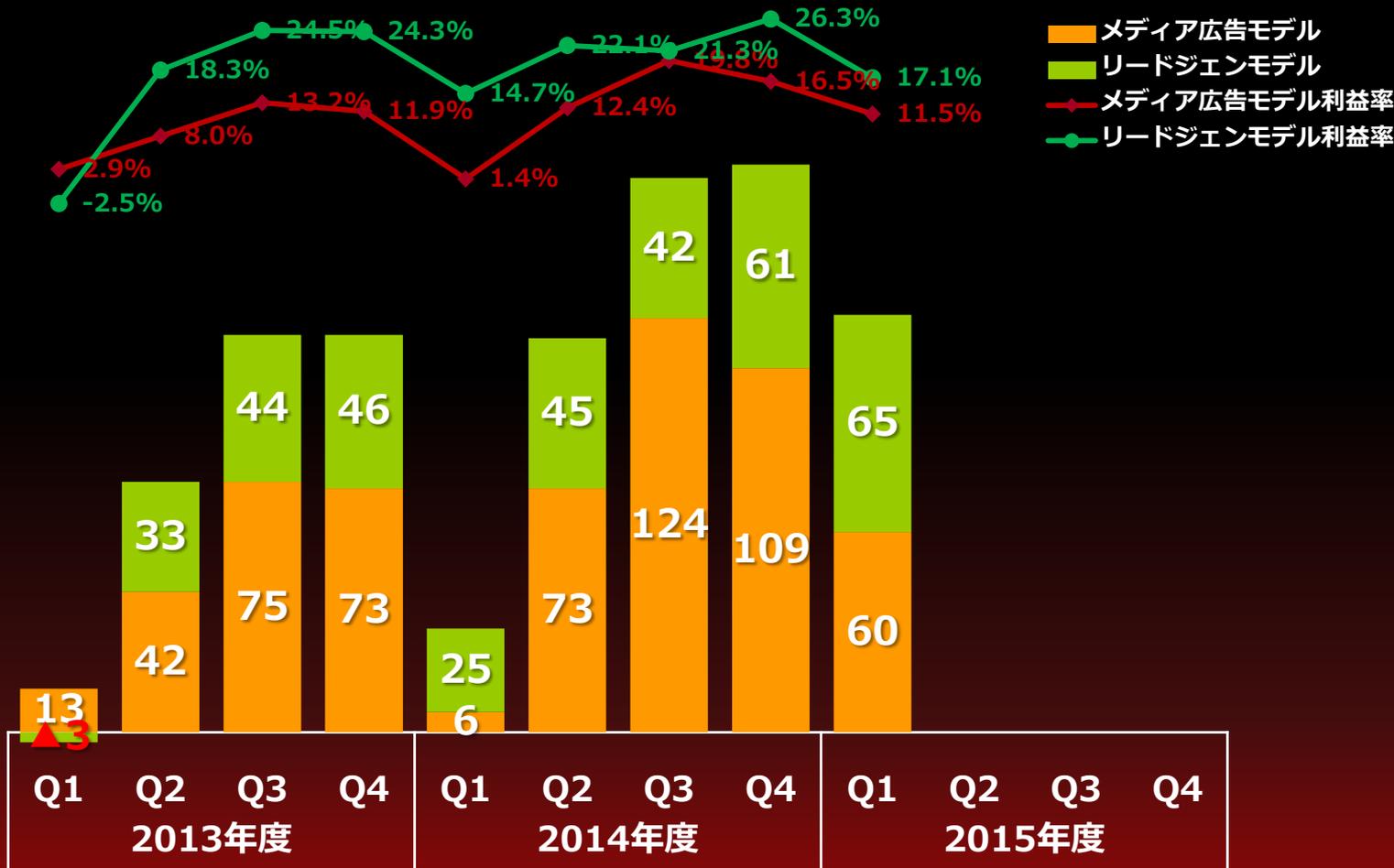
■ メディア広告モデル ■ リードジェンモデル

単位：百万円



# リードジェンとメディア広告の営業利益推移

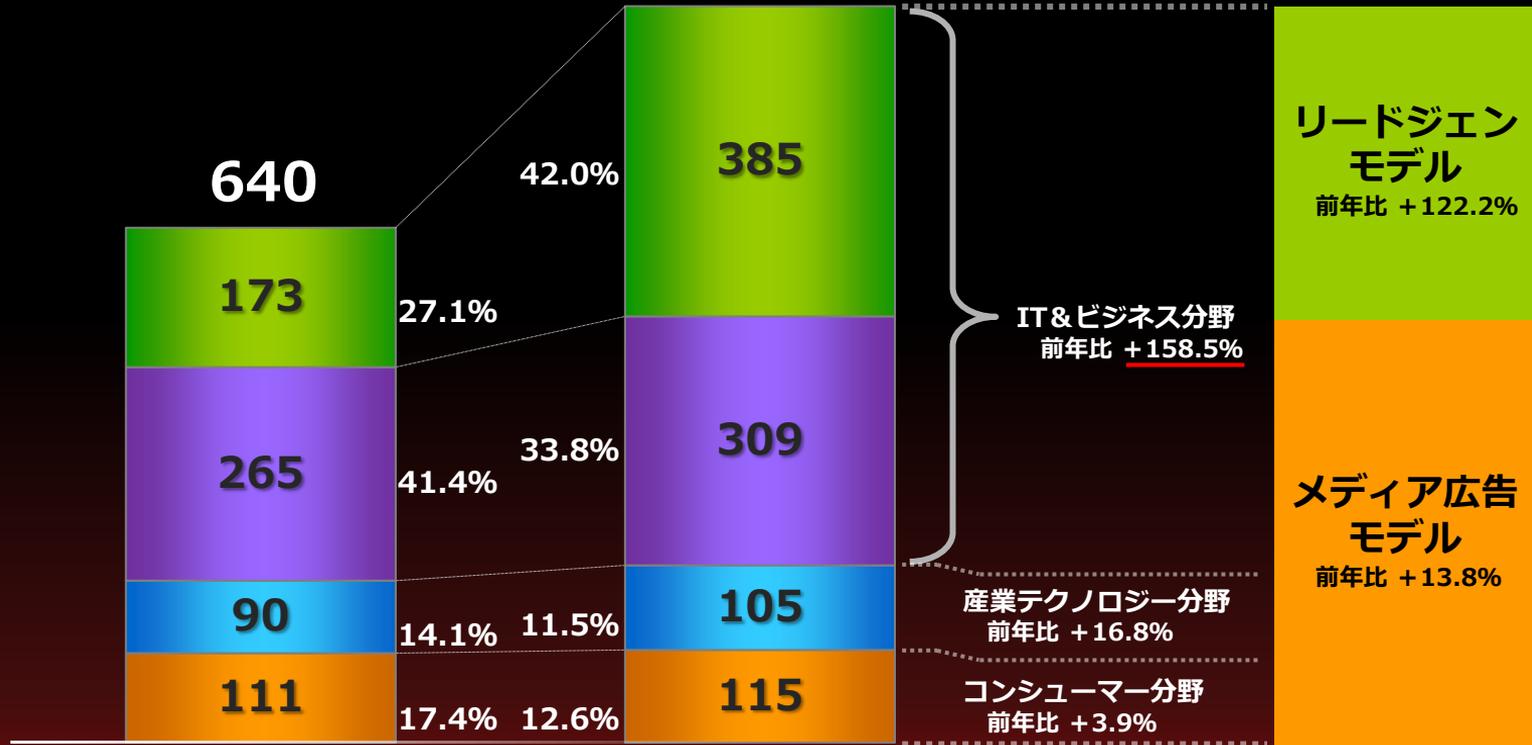
単位：百万円



# 分野別・売上構成比率（前年比）

916

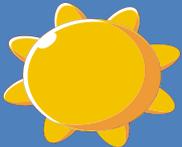
単位：百万円



前期Q1

当期Q1

# 顧客分野別動向

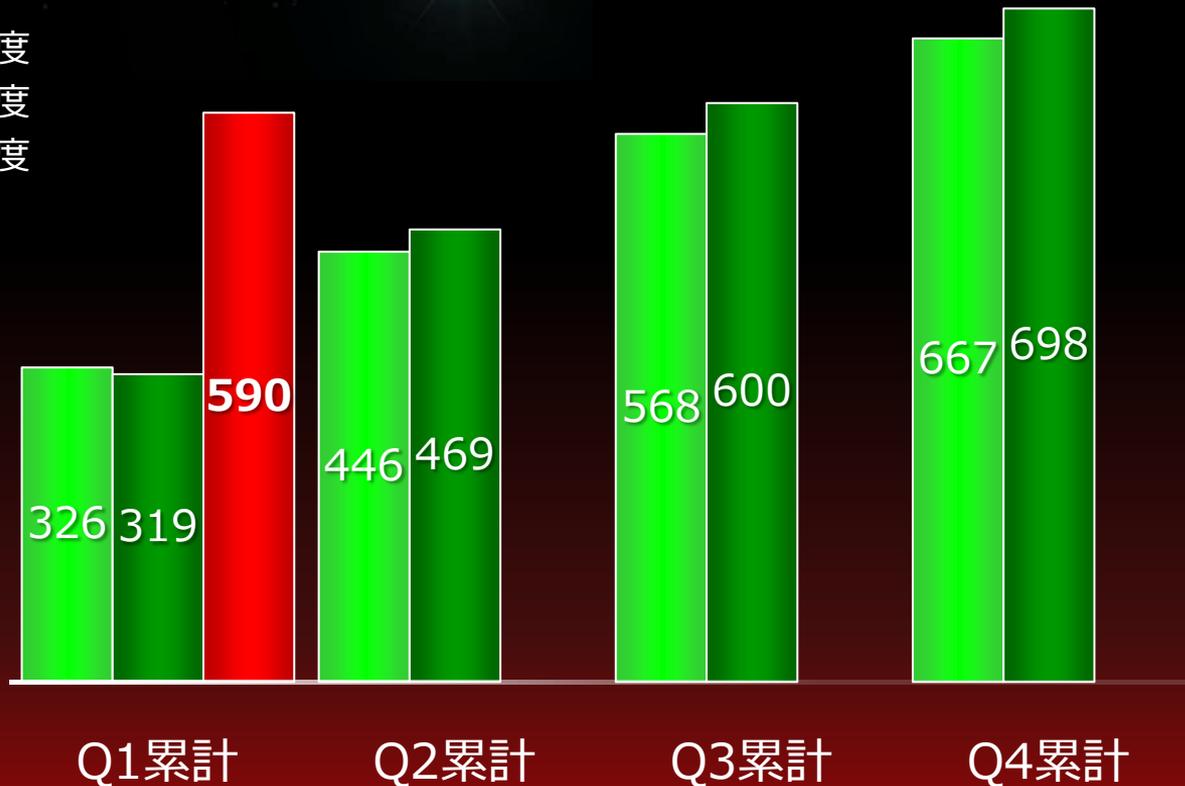
IT&ビジネス分野	産業テクノロジー分野	コンシューマー分野
		
<ul style="list-style-type: none"><li>• 堅調に推移するIT投資を背景に、広告需要が増加</li><li>• 顧客のリードジェン需要は引き続き拡大</li><li>• ITエンジニア向けのメディア「@IT」が好調</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>• 業界全体で、デジタルマーケティングの普及拡大が続く</li><li>• 製造業の業績が改善</li><li>• 製造IT分野、エネルギー分野の広告需要が増加</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>• 一部の国内大手家電メーカーが不調</li><li>• コンテツマーケティング商品の需要が増加</li><li>• 新モデル「ねとらぼ」が順調に成長</li></ul>

※当社顧客についての動向となります。

# 総顧客数の推移

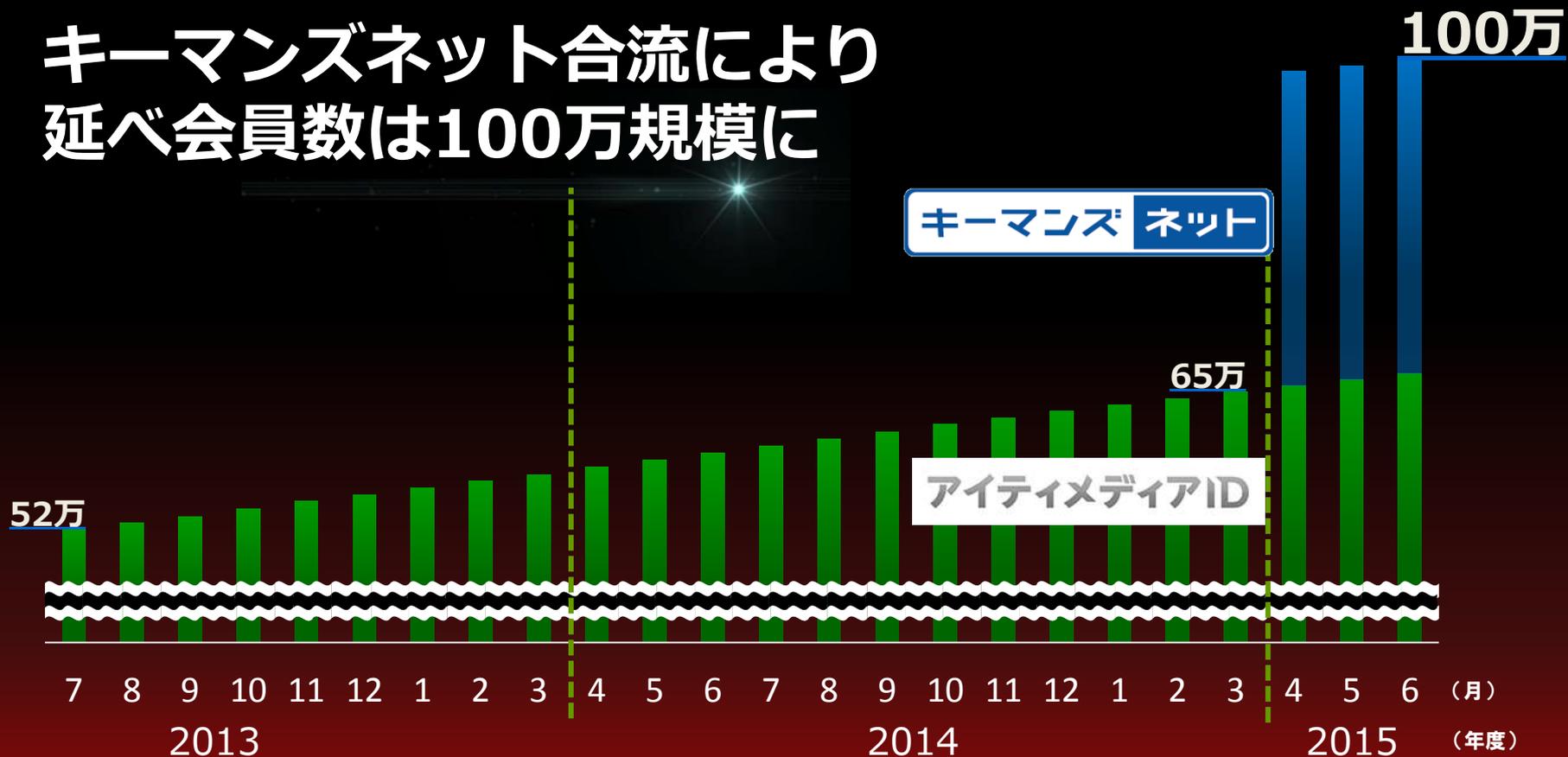
前年比 +85.0% (271社増)

- 2013年度
- 2014年度
- 2015年度



# 延べ会員数推移

キーマンズネット合流により  
延べ会員数は100万規模に



# 2015年度 業績予想

単位：百万円

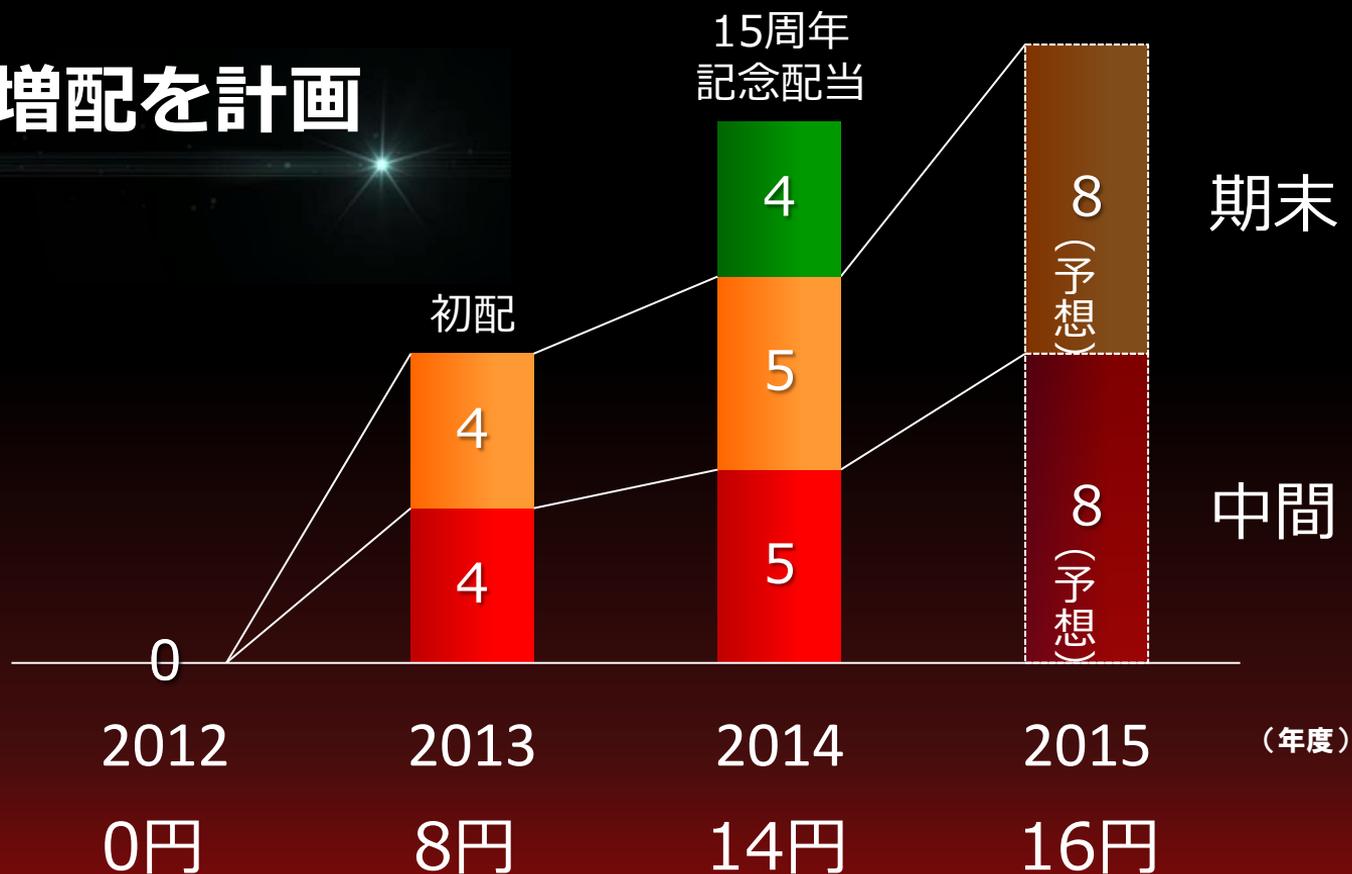
第2四半期（累計）	売上	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 四半期純利益
業績予想	1,900	200	203	135
2014年度実績	1,435	150	153	80
前年との差異 (前年からの増加率)	+464 (+32.4%)	+49 (+32.9%)	+49 (+32.0%)	+54 (+66.8%)

通期	売上	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益
業績予想	4,200	640	650	435
2014年度実績	3,163	488	506	293
前年との差異 (前年からの増加率)	+1,036 (+32.8%)	+151 (+30.9%)	+143 (+28.3%)	+141 (+48.2%)

※：上記の業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。

# 2015年度 配当予想

増配を計画



# 東洋経済 が当社を取材

- » 「東洋経済オンライン」に当社取材記事掲載
- » 好調な業績の裏にある、他にはない当社の特徴、強みについての深掘り記事
- » 成長の柱となったリードジェネレーション、新たな挑戦を続ける ねとらぼ など、メディア企業としての革新性が感じられる内容に

\* 創業15年、「アイティメディア」が進む道  
<http://toyokeizai.net/articles/-/76976>

東洋経済オンライン | 東洋経済オンライン | STORE | セミナー

東洋経済  
ONLINE

創業15年、「アイティメディア」が進む道  
老舗ネット企業が利益を出し続ける理由

田澤 佳介：東洋経済 編集局記者 2015年07月13日

この記事の関連

絶対同の「ねとらぼ」は1月に5000万PVを達成、モバイル広告を伸ばす子供として、大株主島村から特別賞状を贈り、運営にかかわるほど期待のメディアだ(撮影:成野純也)

月間PV（サイト閲覧数）はトータルで1億3000万。最新のテクノロジー動向から、家電、システム導入、ビジネス、ネット上の話題まで、30もの専門メディアを手掛けるアイティメディア。同社は1970年

# 中期成長戦略

## 1. 収益モデルの多元化

キーマンズネットの統合効果を実現

## 2. メディアおよび顧客分野と規模の拡大

## 3. スマートデバイスでのメディアカと 対応商品売上の拡大

成長



リードジェン  
事業

成長

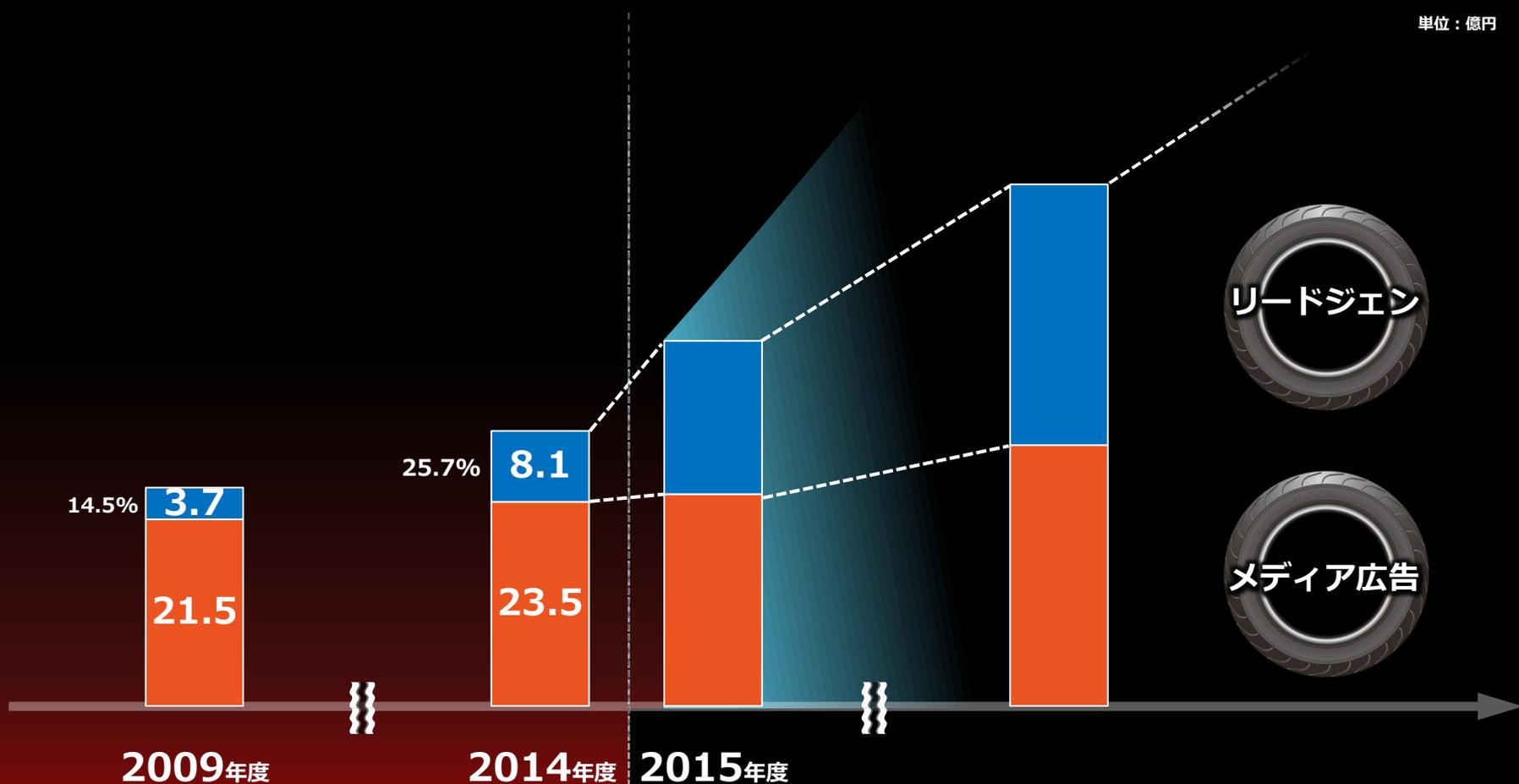


メディア  
広告事業

ビジネスモデルの多元化で成長

# 収益モデル別売上イメージ

単位：億円



メディアの革新を通じて  
情報革命を実現し、社会に貢献する



ITmedia Inc.

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、資料作成時点で入手可能な情報に基づき判断した予想であり、不確実な要素を含んでいます。実際の業績は、様々な要因及び業況の変化により、記載されている予想とは大きく異なる可能性があることをご了承ください。

当社の業績に影響を与えうる事項は「平成27年3月期 決算短信」の「事業等のリスク」に記載されておりますので、ご参照ください。ただし、業績に影響を与えうる要素は「事業等のリスク」に記載されている事項に限定されるものではないことをご留意ください。リスクや不確実な要素には、将来の出来事から発生する重要かつ予測不可能な影響も含まれます。

本資料の掲載内容については細心の注意を払っておりますが、その内容の正確性及び確実性を保証するものではないことをご承知ください。

この資料は投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する決定は、ご自身のご判断において行われるようお願いいたします。

本資料及びデータの無断転用はご遠慮ください。